

日本とタイのいいところを生かしたい

タイ看護師ら視察終え帰国



手術室で電子顕微鏡を体験する2人

2人は城西病院の薬局や外来、病棟、手術室などで視察を重ね、介護施設の介護老人保健施設「すばる」や特別養護老人ホーム「ヒューマン・ハウス」でも視察と体験をしました。このほか、観光やショッピング、結城夏祭りを見学、城西病院グループ「夏祭り」にも参加して楽しみました。

平成26年7月30日

2日から29日にかけて城西病院グループで医療・福祉の現場を視察してきたタイ・メーサイ病院の薬剤師・タワチャイ・ユコンさん（通称ハル）と看護師のナパト・サタポンパタラポンさん（通称ソイ）が、約1カ月のスケジュールを終え、帰国しました。29日には、前場文夫市長らも駆けつけ、バイバイパーティーで別れを惜しましました。



医療だけでなく、介護現場も視察した



多田正毅理事長に手作りのプレゼントを贈るハルさんとソイさん

バイバイパーティーには大勢の人が集まり、2人との思い出などを語り合った

ハルさん 日本の病院スタッフは、テキパキと仕事をされていて、命をとっても大切にしていると感じました。CTやMRIの高度医療システムに感動し、タイに持ち帰りました



ハルさん

思いました。視察を参考に、薬を患者に渡すより良いシステムを作りたいです。

ソイさん 食べものがおいしく、観光場所もきれいで、ごみの分別がしっかりし、日本はすごいとお思いました。タイでは病気



ソイさん

の家族に対して家族全員で介護します。日本は老人ホームなどでお年寄りが安全に暮らせるようになっています。生活習慣の違う両方の国の良いところを取り入れて、看護や介護に生かしたいです。

